

2021年度 広報渉外委員会 方針(案)

委員長／十文字 輝基 副委員長／由利 里美 委員会幹事／昆 宏也
委員／青山 康平 河村 賢治 小牟田 翔吾 島津 悠

委員長 十文字 輝基

1 SNSを代表とするオンライン上でのコミュニケーションや、必要な情報の収集や発信
2 が日常となっている現代社会において、世界中の様々な情報を瞬時に共有することが容易
3 となっております。我々の持つ人的ネットワークと幅広い地域内外のネットワークを活か
4 しつつ、多くの人との輪を広げ、つながりを感じるとともに、状況に適した手法を用いな
5 がら広範囲かつ効果的に送受信していく必要があります。

6 まずは、先輩諸兄や関係団体、各地青年会議所の方々と確固たる協力体制を築くために、
7 活動の制限がされたなかであってもさらなる意欲をもって臨む決意表明をし、活動方針や
8 組織体制をお披露目することで、活動に対するご理解とご賛同をいただきます。そして、
9 我々が行っている運動を地域内外へと広範囲に周知するために、各地LOMとの交流を行
10 いながらホームページと各種SNSを複合的に活用し、迅速に活動内容の情報発信を行う
11 ことで、地域内外に認知度が高まり効果的に運動を広範囲に発信します。さらに、メンバ
12 ーの活動意欲をより高めるために、組織ならではの人脈が広がるメリットを活かし、お互
13 いを知ること、メンバー同士が意見交換を行うと共に知識を共有することで、自社の成
14 長につながる機会を創出し、自社と組織の成長の相乗効果を生みます。また、我々を地域
15 の方々に知ってもらうために、函館市の市民参加型の恒例行事に参加することで、地域の
16 方々にメンバーが地域を盛り上げるために真剣に取り組む姿を肌で感じてもらい、我々の
17 存在を周知することで認知度向上とつなげます。

18 メンバー内や地域内外とつながる広報が確立され、状況に適した手法の選択が可能とな
19 った我々は、それぞれが持つ情報の共有と拡散が繰り返され、多くの人に我々の運動に対
20 する関心や共感を得ながら、効果的に情報が伝播される環境を創出します。

21 22 事業計画

- 23 1. 新年の御挨拶の運営
- 24 2. 函館青年会議所ホームページの運営
- 25 3. 4月例会の運営
- 26 4. 8月例会の運営(ワッシュョイはこだて)
- 27 5. 新入会員の拡大
- 28 6. 各会員及び出向者への協力
- 29 7. 各種大会・会議への参加

30 [年間事業フレーム](#)